



住宅営団復刻資料刊行記念シンポジウムを計画 「東京・大阪・ソウルの住宅営団団地の半世紀を検証する」

木々の緑も、雨に打たれて色濃くなってきました。企画展は大阪・東京・京都の3会場で約7万人の入場者数がありました。会員のみならずにはご支援・ご協力をいただきお礼を申し上げます。

さて、関東・関西合同の住宅営団研究会による資料復刻のための編集・解題作業をしてきましたが、2000年6月の第1巻刊行を皮切りに順調に編集作業が進み、2001年3月末に『住宅営団』全6巻18分冊の刊行が終了しました。

戦後日本の住宅政策の三本柱といわれる公営住宅・公団住宅・公庫住宅はすべからず団地を舞台にして展開されましたが、この「団地」の創出こそが住宅営団の生み出した最大の歴史的成果にほかなりません。

シンポジウムでは、住宅営団閉鎖から半世紀を経た現在、東京・大阪・ソウルの住宅営団団地の現地調査を通して住宅営団の歴史的意義を解明し、21世紀に受け継ぐべき住宅政策・住宅計画・住宅地計画の現代的課題を検証します。

全6巻の目次・解題を合本した『幻の住宅国策機関・住宅営団—住宅営団復刻資料全巻の目次・解題』(仮)を当日、有料頒布する予定です。

東京近辺の方には、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。

住宅営団復刻資料刊行記念シンポジウム 東京・大阪・ソウルの住宅営団団地の半世紀を検証する

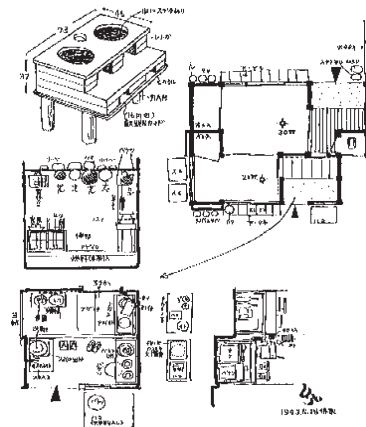
日時 2001年7月13日(金) 13:00から
場所 日本教育会館(学士会館南側)

<プログラム>

- 第1部 挨拶 13:00～14:00
住宅営団復刻資料の刊行を終えて
広原盛明 西山記念文庫理事長
内田文庫のできるまで
内田祥哉 東京大学名誉教授
住宅営団資料の現代的意義
鈴木成文 神戸芸術工科大学学長
- 第2部 シンポジウム 14:00～17:00
東京・大阪・ソウルの住宅営団団地の半世紀を検証する
コーディネーター 大月敏雄 東京理科大学講師
シンポジスト
事例報告：蕨の営団住宅地
在塚礼子 埼玉大学教授
住宅営団大阪支所の住宅地開発
塩崎賢明 神戸大学教授
ソウルの住宅営団団地の現在
富井正憲 神奈川大学助教授
- 第3部 パーティ 17:00～19:00

もくじ

住宅営団復刻資料刊行記念シンポジウムを計画	1
企画展 京都会場	2
第3回 夏の学校 2001 案内	3
第1回 セミナー／機能の深化 渡辺豊和	4
第2回 セミナー／都市に住まう 橋爪紳也	7
松本氏のセミナーを聞いて 富安秀雄	10
<トピックス> 中島明子	12
<会員だより>	
・本質を深く問う 江上 徹	15
・近況報告 柴山直子	15
<西山先生と私>	
・西山先生の研究・教育から学んだもの 中村 攻	16
・弱者の立場で真の学問を貫いた父 西山和美	20



<申込方法・問い合わせ先>

第1部と第2部／参加費無料(150名当日先着順)
第3部／会費5000円(申込先：西山文庫 7/5まで)